

No.257



青森県理学療法士会ニュース

弘前市「市民の健康祭り」奮闘記

弘前市立病院 上川 香織

7月10日(土)、11日(日)の2日間にわたり、弘前市「第18回市民の健康祭り」が開催されました。以下、大盛況であった祭りの模様と、コーナー運営上感じたことを皆さんにお伝えしたいと思います。

最近、健康に対する関心の高まりと共に、リハビリに関する報道が様々なマスメディアによってされています。そのような傾向を反映してか、今回の総入場者数は3007名であり、過去最高であった昨年を上回る市民が訪れました。また、「リハビリコーナー」への来場者数も667名と、こちらも昨年以上の結果となりました。

リハビリコーナーでは例年と同様、「リハビリと介護に関する相談窓口」と「障害体験疑似コーナー」、「五十肩・腰痛体操を紹介したスライド展示」を中心とした催しを行い、可能な方にはアンケートにもご協力頂きました。

相談窓口では、例年どおり「肩や膝が痛い」などの運動器疾患の相談や、家族への介護に関する相談が多かったようです。相談において市民から多く聞かれたのは、「このような専門的な知識を持った人に気軽に相談できるような場があればいいのに」ということでした。病院を受診しなくては、PTやOTなどといった専門的な知識を持った人に相談できないというのは市民にとって不便であり、残念であり、もっと地域に身近な存在であって欲しいという希望を強く感じました。

次に「障害者疑似体験コーナー」では、車椅子体験を主に行いました。しかし、来場者がこれまでに多くあり通路も混雑したため、希望者全員が車椅子体験できない状態となってしまう、悔しい思いをする結果となってしまいました。

また、今年はアンケートにも多数の方のご協力が得られました。その中から一部を紹介したいと思います。

- 1, 理学療法士という職業をご存知でしたか
 どんな仕事か知っていた -32.5 % 聞いて

たことがある -41.8 % 知らなかった -25.5 %

- 2, 前の質問で , の方のみ、理学療法士を何で知りましたか(上位3つのみ表記)

テレビ -39.5 % 新聞 -16.2 % 自分の体験から -13.9 %

- 3, 次の職業であなたの知っている職業はどれですか(複数選択可)、という質問に関しては、17項目中医師、看護師、薬剤師、栄養士、救急救命士、介護福祉士について理学療法士という順でありました。

理学療法という名前自体は世間に徐々に認知されてきているようですが、理学療法の詳しい内容を正しく知っている人は少なく、また様々な医療職種の中では認知度が低い方であると感じました。

「リハビリは知っているけど、理学療法とは何なの?」とよく聞かれます。「理学療法」とは...教科書的には定義はあります。しかしそれをわかりやすく伝えようとすると、私自身困ることがあります。なぜなら、ここからここまでが理学療法士の仕事であるとはっきり言えないからです。そのような困惑は裏を返せば、理学療法ははっきりと範囲が決まっていないということであり、その分様々な可能性を秘めているということではないかと考えます。理学療法がリハビリテーションの中で、地域の中で、社会の中での位置、役割を確立していくのはまだまだこれからであり、またそれを地域の人々も望んでいるということを感じます。そのためにも、このような催しに参加し、地域の人々の様々な声を聞き、理学療法の更なる可能性を探っていくことは重要であるということを改めて感じました。

最後に、お忙しい中コーナーの運営に協力して頂きました山内茂寛氏(健生病院)、長谷川国俊氏(弘前中央病院)、鈴木樹里氏(弘前記念病院)、坪井康典氏(弘大医学部保健学科)の方々にお礼申し上げます。

整喜会に参加して

西北中央病院 福司悠佳

去る7月13日、新人教育・生涯学習プログラムの単位認定となって初めての整喜会が開催されました。整喜会は、西北五地区の整形外科医の先生方による勉強会で、一昨年から PT、OT も参加しており、私も昨年からは西北中央病院に勤めて以来、毎回参加しています。医師の勉強会は難解な言葉が飛び交っていきそうなイメージがあり、「新人の私がついていけるものなのか？」と思っていました。しかし、実際には日頃の臨床場面に関わっている内容が多く、今では、直接医師の意見を聞くことのできる滅多にない機会に参加できて勉強になるなあと、思っております。

今回の整喜会は、7月13日にホテルサンルート五所川原で行われ、「変形性膝関節症に対する高位脛骨骨切り術の成績」というテーマで、弘前大学医学部整形外科医の津田英一先生の御講演がありました。今回だけに限りませんが、手術術式の相違による利点や欠点は、術後 PT を行っていく上で考慮しなければいけないことなので、先生方の考えを聞くことができ大変勉強になりました。私自身は高位脛骨骨切り術後患者の治療経験はなかったので、今回のテーマを聞いたときは内容が理解できるかどうか不安でしたが、講演の内容は非常にはわかりやすいものでした。平日ですし、場所もやや遠方だということはあったのですが、思ったより参加する PT が少なく（PT 7人でした！）残念に思いました。

整喜会で講演して下さる先生だけでなく、会場に来ている先輩 PT の経験を聞くことも、新人には勉強になると思いますので、できるだけ多くの PT が参加することを希望します。

また、講演の後は懇親会があり、お酒を飲みながら気軽な雰囲気先生方とお話することができます。ホテルの食事ですので、普段食べられないご馳走だって出ます！ちなみに今回はフォアグラが出ました。この機会に栄養をたくさん摂り、勉強することへのエネルギーにしていきたいと思っています。皆さんも奮ってご参加ください。

新人・転入会員紹介（三八・上十三地区）

なかざわスポーツクリニック 葛間 翔

今年の春、青森県立保健大学を卒業し、なかざわスポーツクリニックに就職した葛間翔です。

高校時代から人と接することが好きで、将来は直接自分の手で目の前にいる人達に何か手助けができる職業に就きたいと考えるようになり、理学療法を志しました。また、学生時代からスポーツが好きで、スポーツ医学にも関心があったため、現在の職場に就職しました。

まだまだ経験不足ではありますが、患者と同じ目線で考え、その悩みや苦しみを理解する豊かな人間性を育てながら、日々精進していけるよう、研究心・向上心を持って取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

なかざわ整形外科 浅田 恵

初めまして。なかざわ整形外科の浅田恵です。八戸市出身で、4月にめでたく23歳になりました。学校は青森県立保健大学です。現在実家でぬくぬくと生活しており、すっかりナマケモノになってしまいましたが、仕事はしっかりやっています（つもりです）。仕事として理学療法に接するようになってから、いろいろ壁にぶちあたって、正直大変なことも多いですが、周りのスタッフに助けられながらなんとかやっています。いろいろな意味で未熟者ではありますが、少しずつでも成長していきたいと思っておりますので、ご指導・御鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

ちなみに、遊ぶことと食べることは得意なので、皆様ぜひ誘ってください。

なかざわ整形外科 下村 万里江

はじめまして、下村万里江といたします。八戸市出身の22歳です。今年札幌総合医療専門学校を卒業し、なかざわ整形外科リハビリテーションクリニックに勤務しています。梅雨の無い北海道で快適な夏を過ごしてきたので今は久しぶりに感じる蒸し暑さに苦しみながら仕事に励んでいます。まだ札幌の町並みや友達が恋しくなることがありますが、やっと理学療法士としてのスタートラインに立つことができたので、これから努力し、知識・技術ともに向上していけるように頑張りたいと思います。今はまだまだ至らない点が多くご迷惑をおかけすることがあると思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

八戸赤十字病院 岡元 紗矢香

八戸赤十字病院の岡元紗矢香です。出身は八戸とは真逆の日本海沿岸の町、鱒ヶ沢町です。この春、青森県立保健大学を卒業し4月から勤務しています。生粋の津軽人ですが、4ヶ月経ちやっと南部の風土や人々に慣れてきた気がします。今では患者さんと話すとき微妙に南部なまりになってしまします。仕事の方も、やっと慣れてきました。最初の頃は忙しさに頭も体も追いつかず目が回りそうでしたが、今では少なくとも体の方は追いつくようになってきたようです。患者さんを評価し治療する面ではまだまだ未熟で、頭の中は考えなければならぬことで常にいっぱいです。知識も技術も理学療法士としての人間性の点でも学ばなければならぬことはまだ数多くありますが、自分のためにも患者さんのためにも、自分のできることを精一杯行いながら成長していきたいと思ひます。

八戸赤十字病院 平 加緒理

はじめまして、平加緒理といたします。今年、秋田大学医療技術短期大学部を卒業し、八戸赤十字病院で勤務しています。出身地は岩手県の軽米町です。軽米はとにかく自然の豊かなところ。それしかありません。働き始めてもう4ヶ月経ちましたが、技術も知識もまだまだ勉強不足だと感じる毎日です。よく落ち込むこともあり、不安もあります。でも、患者様の笑顔を見ると理学療法士になってよかったと思ひ、もっと頑張らなくては！と思ひます。患者様のためにもっと知識や技術を身につけられるよう、もっと勉強していきたいと思ひています。まだわからないことが多く、迷惑をおかけすることがあると思ひますが、ご指導よろしくお願ひいた

します。

シルバー病院 菊池 芳香

はじめまして。シルバー病院勤務の菊池芳香です。出身は岩手県なので、青森での生活はまだ慣れず、どこに何があるかわからないので、いろいろな場所へ行って青森を探索するのが最近の暇つぶしです。八戸に来て、驚いたことはパチンコ屋がとて多いことと橋がすごく綺麗なことです。

仕事をするにあたり、ご迷惑をかけることが多々あると思ひますが、これから日々努力していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

シルバー病院 菅原千恵子

はじめまして、シルバー病院勤務の菅原千恵子です。青森県百石町出身です。出身校は岩手リハビリテーション学院です。学生の時は一人暮らしをしていたため、何をするのに自分でもやらなければいけなく、大変でした。現在は実家で生活しているため、親に甘えた生活を送っています。仕事を始めて、毎日、時間の流れの早さに驚かされています。まだまだ未熟ではありますが、精進していきたいと思ひます。御指導・御鞭撻の程、宜しくお願ひ致します。

室岡整形外科病院 岩織好信

はじめまして。理学療法士となり9年目で、今年の3月より八戸の室岡整形外科に勤務させて頂いております。出身校は国立仙台病院附属リハビリテーション学院、卒業後はあこがれだった北海道にて病院勤務のあと地域の保健・福祉の分野で幅広く活動し、知見を深めることが出来ました。またプライベートでは北海道の至る所に、鉄道・バス・レンタカー・タクシー・徒歩・チャリ・ヒッチハイク等々あらゆる交通手段を駆使して旅してまいりました。宿泊もホテルに限らず、無人駅、バス小屋、テントなどどこでも泊まりました。-30のキャンプや流水の上を歩いたり、落ちたり、なかなかできない経験もしました。

これから北海道へ旅行を考えている方、旅情報をお教え致します。御一報下さい。

長く病院勤務から遠ざかっていた為、おろそかになりかけていた医療分野での臨床経験を取り戻そうと思ひます。ご指導・ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願ひ致します。

公立七戸病院 榎館強拓

はじめまして。榎館強拓（ならだて かつひろ）と申します。出身は上北郡上北町、出身校は北海道恵庭市・日本福祉リハビリテーション学院です。卒業後は札幌市・交雄会グループ記念塔病院に2年間勤務していました。今年度より、公立七戸病院に勤務となりました。地元に戻ってき

たものの、青森県土会の皆様とは面識が薄いので、今後交流を深めて行きたいと考えています。趣味はバスケットボール、機械いじりなどなど。基本的にいじることが好きです。地元が一緒の方や北海道土会から転入された方など、お話できれば光栄です。よろしくお願い致します。

伝言板

第681回現職者講習会のお知らせ - PNF基礎編 -

日 時：平成16年9月24日（金）～26日（土）

講 師：高橋護（湯河原厚生年金病院）

会 場：青森県立保健大学など

受講費：20,000円（情報交換会費、昼食代を含む）

定 員：20名

申込方法など詳細は「理学療法学」掲載の協会ニュースNo.229を参照下さい。

第11回青森リウマチ・ケア研究会のご案内

日 時：平成16年8月21日（土）13:00～16:00

場 所：青森市文化会館5階大会議室

プログラム：13:00～14:00 特別講演「関節リウマチに対する新しい薬物治療」

講 師：竹内 勤 先生

（埼玉医科大学総合医療センター第二内科教授）

14:00～14:15 休憩

14:15～16:00 パネルディスカッション

（15:00～15:15）リウマチ体操

参加費：無料

この研究会は、新人教育プログラム「専門領域」または「トピックス」、および「生涯学習基礎プログラム」の単位認定の対象となります。

標記テーマ以外への読み替えについては、下記までご相談ください。

出張用公文書が必要な方は、下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：

〒036-8564 弘前市本町66-1

弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻内

長谷川 至

TEL&FAX 0172-39-5981 E-mail: pthase@cc.hirosaki-u.ac.jp

整喜会の開催案内

次回整喜会開催は、9月となっております。7月開催は、日程が繰り上がり13日に開催されました。皆様方には連絡が遅れてしまい、問い合わせ頂いた方にも大変失礼致しました。次回開催についても日程が変更される可能性が有りますので、参加希望される方は2週間前に問い合わせ頂ければ幸いです。

開催予定

日 時：平成16年9月15日

場 所：ホテルサンルート五所川原

テーマ：未定

会 費：1,000円

事前申し込み不要ですが、日程の確認は必要

新人教育プログラムおよび生涯学習基礎プログラムの単位認定可能

問合せ先・・・五所川原市立西北中央病院リハビリテーション部 舘山智格 宛
TEL 0173-35-3111 (代表)
E-mail (リ八部) : shp13@r20.7-dj.com

《重要！》

平成16年度特別講習会参加申込みについての変更と追加のご案内

学術局長 長谷川 至
研修部 佐井川 匠秀

ニュースNo.256にて案内を致しました特別講習会の参加申込みについて変更がございますのでご連絡致します。すでに参加申込をされた会員の皆様もご確認・ご理解いただきますようお願い致します。

- 記 -

【参加申込について】

申込締切を変更致しました！

締 切 り：平成16年9月3日(金)

申込締切までは随時受付致しますが、定員超過の場合は講師と相談の上、会場の都合も加味し「同一施設からの参加人数を制限(参加1名～2名)」させていただきますのでご了承下さい。

の場合、締切後こちらより連絡し、各施設で調整していただきます。

講習会内容、申込方法等については「県士会ニュースNo.256」をご参照下さい。

会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが何卒よろしくお願い致します。

理学療法研究第22号（2005年3月発行予定）の投稿募集のご案内

学術局学術誌編集部 長谷川 至

理学療法研究第22号（2005年3月発行予定）の原稿を募集致しております。投稿を希望される方は、理学療法研究第21号の投稿規定および執筆要綱 p51～53 をご覧頂き、締め切り日までに原稿を下記投稿先に郵送にてお送り下さい。尚、投稿原稿のフロッピーディスクについては、校閲後にあらためて提出（11月上旬）して頂きますので、その旨よろしくお願い致します。

投稿締切日：2004年9月30日（木）必着

投稿先・問い合わせ先

〒036-8564 弘前市本町66-1

弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻内

青森県理学療法士会学術局 学術誌編集部 長谷川 至 宛

TEL & FAX : 0172-39-5981

E-mail : pthase@cc.hirosaki-u.ac.jp

第30回青森県理学療法士会定例研修会改め 青森県理学療法士会症例検討会のご案内

学術局長 長谷川 至
研修部 佐井川 匠秀

例年開催しておりました「青森県理学療法士会定例研修会」ですが今年度はその名称を「青森県理学療法士会症例検討会」に変更し開催することとなりました。

発表者による話題提供をもとに、ディスカッション形式をとりながら大いに日頃の悩みや、経験談を語り合える場にしたいと思えます。

つきましては、会員の皆様より広く演題の募集を致します。例年新人会員中心としてまいりましたが、先輩会員の皆様にも、日頃の臨床活動の成果や疑問について発表する機会として大いに活用して頂きたいと思えます。尚、本会の発表者には新人教育プログラム「症例検討」の単位、参加者には「症例検討」の単位がそれぞれ認定されます。

- 記 -

と き：平成16年12月4日（土）・5日（日）（予定）（演題数により期間短縮あり）

と ころ：弘前大学医学部保健学科

参加費：500円

申込先：（医）芙蓉会芙蓉会病院 理学療法室

佐井川 匠秀

TEL：017-738-2214 FAX：017-738-2249

E-mail：fuyo-rigaku236@fuyoukai.or.jp

締 切：平成16年10月8日（金）

発表希望者の方へ

発表内容は症例報告に限らず、日頃の業務に関する悩みなどをまとめて頂いてもかまいません。締切までの抄録の作成は不要ですが、上記期日までに発表の意志、できれば（仮）タイトルをお知らせ下さい

平成16年度第4回青森県理学療法士会研修会のお知らせ

第4回青森県理学療法士会研修会を下記の要項で開催致します。ご多忙とは存じますが多くの会員のご参加をお待ちしております。

- 記 -

研修会

日時：平成16年9月4日(土) 13:00 ~ 17:15 (受付 13:00 ~)

場所：学校法人臨研学舎 東北メディカル学院 3階 大教室・木工金工室

住所； 〒039-1522 三戸郡五戸町字苗代沢3-638

内容：テーマ1；13:30 ~ 15:30

『コミュニケーションスキル - 行動変容を生むアプローチ - 』（人間関係）

講師；国民健康保険百石病院 板井 英樹先生

テーマ2；15:45 ~ 17:15

『望まれる臨床実習指導者とは(仮題)』（理学療法の教育方法論）

講師；東北メディカル学院 細井 菊実先生

懇親会

日時：平成16年9月4日(土) 18:00 ~

場所：まきば温泉(本学院向い)

参加費

研修参加費：テーマ1つ毎に500円

懇親会費：4,000円 { 馬肉料理(桜鍋など) 酒代含む }

宿泊費(朝食込み)：4,000円 { 温泉はPM10時まで }

懇親会費とは別になります。

研修会・懇親会参加受付

研修会・懇親会の参加申し込みは事前の受付が必要です。電話・FAXで申し込んでください。

申し込みの際は、名前、所属、年齢、経験年数も伝えますようお願いいたします。

馬肉が駄目な方はお知らせください。

申し込み締切：**8月27日(金)まで**

申し込み先：西向・相坂(公立七戸病院 リハビリテーション科)

TEL：(0176) 62-2105 FAX：(0176) 62-6964

この研修会は「新人教育プログラム」および「生涯学習基礎プログラム」の単位認定の対象となります。尚、単位認定が必要な方は、生涯学習手帳を必ず持参し、該当欄に必要事項を記入した上で押印を受けてください。

標記テーマ以外への読み替えについては、下記までご相談ください。

出張用公文書が必要な方は、下記までお問い合わせください。

問合せ先：

〒036-8564 弘前市本町66-1

弘前大学医学部保健学科理学療法学専攻内

青森県理学療法士会事務局 学術誌編集部 長谷川 至 宛

TEL & FAX：0172-39-5981

E-mail：pthase@cc.hirosaki-u.ac.jp

第4回青森県理学療法士会研修会抄録

『コミュニケーションスキル - 行動変容を生むアプローチ - 』

国民健康保険百石病院 板井 英樹

我々の職域において、より良い関係を築く際にコミュニケーション能力を発揮する場面は多々あるかと思えます。患者、利用者、一般住民(健康教室参加者など)とのサービス需給関係やその周囲の関連スタッフとの協働関係が挙げられると思えます。

上記のような表現ではない関係を職場もしくはその他の活動(ボランティアなど)において築いていられる方もあるかと思えますが、今回、行動変容を生むコミュニケーションスキルに完結していけるように進めて行こうかと考えています。皆さんの良好な連携(関係)を築く上での一助になれるよう、加えて伝えるという技術を筆者も皆さんと学んでいこうと思っています。

『望まれる臨床実習指導者とは(仮題)』

東北メディカル学院 細井 菊実

臨床実習教育とは、学内教育で得た基本的知識や技術をいかに臨床場面で実施できるようにするかを練習する場であり、それと同時に重要なのは患者や PT その他の医療スタッフとの人間関係を築く場でもあります。

そこで、今回の研修会では「応用行動分析学」を臨床実習教育に適用していくための基礎理論と技法を具体的に概説していくなかで、学生の行動を引き起こす本当の原因を教育環境側に見出し、効果のある教育技法を学んでいきたいと思えます。今回は、新人をはじめ様々な経験年数の PT の皆さんに参加していただき、今まで学生の立場であった新人の視点と現在臨床実習指導者としてご活躍されている諸先生方の視点、また、これから実習に出ていく学生を育成している学校側の視点も含め、グループでのディスカッションも交えてみなさんと一緒に考えたいと思っております。

【財務部通信】

会費自動引き落とし者へ

平成 16 年度の自動引き落としが 5月27日(木)に行われました。 引き落とし不能者 と 引き落とし以外者 は下記へ振り込みをお願いします。

会費納入方法は下記の通りです。

士会費 12,000 円の振込先 振込み手数料 210 円

みちのく銀行 黒石支店 店番 024 口座番号 0117013

名義名 青森県理学療法士会 代表者 佐藤 洋

協会費 11,000 円の振込先 振込み手数料 120 円

郵便振替で 口座番号 00130-3-78642

加入者名 社団法人 日本理学療法士協会

通信欄に

記入例 平成 16 年度会費 1 名分 佐藤洋 8692 協会会員番号

と記入して下さい。払込人住所氏名は、施設名の住所氏名で結構です。

尚、領収証が必要な方は、下記へ御連絡下さい(昨年、連絡を下さった施設には入金を確認できれば送付します)。また、どうしても 6 月 15 日まで納入できない人は、自動引き落としにして下さい(振込手数料無料、公共料金と同じく忘れなくて済む)。どうぞ御協力をお願いします。

不明な点は 黒石病院リハビリテーション科

佐藤 洋

TEL 0172-52-2121(217)

【ニュース編集部通信】

次回の原稿締切は、平成16年8月24日(火曜日)です。
原稿を依頼された方、もしくは掲載記事をお持ちの方は、次頁の各支部担当に
フロッピーディスク、FAX、E-mail のいずれかに送付下さい。

青森県士会ホームページアドレス

<http://www.aa.alpha-net.ne.jp/ptaomori/>

§ ニュース編集部支部担当者 §

東青・むつ下北：須藤 宗（あすなる学園）

〒 038-0003 青森市石江字江渡 101 TEL 017-781-0174 FAX 017-766-4396

E-mail : ptasunaro@hotmail.com

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

三八・上十三：川口 恵理（シルバー病院）

〒 039-1161 八戸市河原木字八太郎山 10-444 TEL 0178-28-4000 FAX 0178-20-4962

E-mail : ptsilver4000@yahoo.co.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

中弘南黒・西北五：藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

〒 038-0194 南津軽郡碓ヶ関村碓ヶ関字湯向川添 30 TEL 0172-45-2231 FAX 0172-45-2373

E-mail : reimeipt@h7.dion.ne.jp

(リハ科全体のアドレスのため、本文中に宛名が必要)

事務局ニュース編集部長；梅村 孝博（東北メディカル学院）

〒 039-1522 五戸町字苗代沢 3-6 TEL 0178-61-0606 FAX 0178-61-0034

E-mail : pt.umemura@rinken.ac.jp

編集委員；伴 久美子（黒石病院）

須藤 宗（あすなる学園）

藤田 俊文（黎明郷リハビリテーション病院）

川口 恵理（シルバー病院）

豊嶋 大輔（八戸城北病院）

佐々木幸重（十和田東病院）

外交局広報部(HP 担当)；安田 友久（青森労災病院）

編集後記

八月に入り、お祭が各地で多くなってくる季節となりましたね。みなさんは、どこかお祭りを見に行く予定はありますか？今年の青森ねぶた祭の最終日は、青森ねぶたはもちろん、弘前ねぶた、八戸三社大祭が合同で海上運行するみたいですね。私事ですが、今年は初めて栈敷席で観覧する予定ですので、今から楽しみです。（文責：伴 久美子）

奥 付

編集；青森県理学療法士会

発行；PT 事務局・ときわ会病院リハビリテーション科内
〒038-1216

南津軽郡常盤村榊字亀田2-1

PHONE・FAX 0172-65-3698

E-mail；ptaomori@m16.alpha-net.ne.jp